

第4回 愛南町
海業推進会議

令和6年1月31日

～第3回会合以降の取組及びお知らせ～





第3回海業推進会議以降の取組（広報）

■ 家串湾の貝類養殖筏でJブルークレジット®認証取得（令和5年12月22日公表）

【未来に繋ごう！真珠のふるさと愛南町

～みきなわいかだ 幹縄筏が生み出すブルーカーボンクレジット～】

実施主体：愛南漁業協同組合（代表）、家串真珠母貝生産組合、国立大学法人愛媛大学、愛南町役場

《目的》

愛南町で盛んに行われている真珠母貝養殖業の価値や魅力を再評価し、営みを継続させていくことで、真珠産業全体の振興と地域の持続的な発展を図ります。

《内容》

真珠母貝養殖に使用する筏には、毎年多くの海藻が繁茂を繰り返します。この海藻を、CO₂など温室効果ガスの吸収源（ブルーカーボン）として捉え、年間の吸収量を算定したところ、5.9t-CO₂がJブルークレジット®として認証されました。これを販売することで、脱炭素社会の構築に向けた財源に充てることができます。

《プロジェクトの特徴、効果》

- ・ 貝類養殖筏では全国初、四国では第一号となるJブルークレジット®認証です。
- ・ 産業活動そのものが脱炭素社会に貢献すると再評価された画期的な取組です。
- ・ 取得したクレジットは、環境や真珠産業の保全・活性化への活用のほか、持続的な水産業の確立や水産人材育成など、海業の取組にも活用することで、町全体の活性化を図ります。





第3回海業推進会議以降の取組（イベント）

■ 第14回愛南町水産フォーラム（令和6年1月20日開催）

【未来に向け水産業を守るために～海から森を考える～】

《目的》

漁業、養殖業が盛んな愛南町において、未来志向で更なる水産業の活性化を図るため、新たな知識や多様な視点を認識すること、そして海の根源である森、川に対して私たちは何をできるのかを考えるきっかけとして開催しました。

《講演者》

| | | | |
|--------------|-----|----|------|
| NPO法人 森は海の恋人 | 理事長 | 畠山 | 重篤 氏 |
| 株式会社 モリアゲ | 代表 | 長野 | 麻子 氏 |
| デザインコンサルタント | | 岸本 | 吉生 氏 |

《講演について》

個性の際立つお三方から、それぞれの活動を紹介されました。「良い森がある場所には、良い海がある。だから、海に関わっている人間が森について考え、活性化させ、さらに良い環境にしていくことが重要です。」といったお話や、その担い手を育成するために大切な哲学などを事例をもとにお話しいただきました。今年度始まった海業にとっても欠かせない大事な視点をご講演いただきました。

